

キャラクター名

月夜 櫻子

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン ウロボロス		ワークス	ヴィジランテB	カヴァー	ヴィジランテ
	オプショナル		年齢	21	性別	女性
覚醒	素体	衝動	殺戮		初期侵食率	45 %
出自	結社の一員	経験	汚れ仕事		邂逅	忘却:イスカリオテ

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2		0			2	行動値	21
感覚	2	1	0		6	9	(非装備時)	21
精神	3		0			3	戦闘移動	26
社会	1		0		1	2	全力移動	52

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	9		R C			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：裏社会	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
デビルズキャスケット	射撃	9r+5		24		マイナー使用でMP使用可能化/その時侵蝕+3

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	
ソウルアイテム (思い出の一品)	
コネ:ヒーローマニア	
思い出の一品	

合計装甲：	0	合計回避：	0
-------	---	-------	---

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
実験体	P	N		
両親及び財団	P 執着	N 侮蔑		
イスカリオテ	P 好奇心	N 脅威		
グレートエッジ	P 懐旧	N 憤懣		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	12	残り財産P:	
--------	----	--------	--

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ウロボロス	3	2	メジャー					
効果：								
螺旋の悪魔	5	3	セット	至近	自身			
効果：自身暴走、R中の攻撃+[Lv*3]								
混色の氾濫	2	2	メジャー		範囲(選択)			
効果：原初系範囲(選択)化								
ライトスピード	1	6	マイナー	至近	自身		100	
効果：2回メジャーアクション/C値+1								
浸透撃	1	2	メジャー	武器	単体			
効果：ガード無視								
原初の青:クイックモーション	1	3	セット	至近	自身			
効果：エフェクト以外のマイナー1回追加								
原初の白:うごめく弾丸	1	4	メジャー	武器			80	
効果：重圧付与								
原初の赤:滅びの一矢	5	3	メジャー	武器				
効果：判定+[Lv+1]d								
チャンピオンズマスク	★							
効果：黒いヴェールの向こうは、未だ謎								
闇夜の烏	★							
効果：闇から現れ闇に消える								
蝙蝠の耳	★							
効果：索敵用によく用いる								
効果：								
効果：								

説明しよう！グッドナイト・ワールドとは！
昨今巷を騒がせるヴィジランテの1人である。
ある時には超距離弾のみでヴィランを蜂の巣に。またある時には瓦礫下の救助者を、声のみで外へと誘導し。
数少ない目撃証言を整理すると、現場には毎回漆黒の衣装を身に纏うシルエット。顔は黒いヴェールに覆われており、背丈からおそらく女性か子供。武器は身の丈に合わせ巨銃。それ以外の詳細は不明である。
活動近辺には教会施設もそれなりにあるため、普段は関係者に紛れていると推測される。
他には外国語の聖書を携えていた、戦闘音に紛れて笑い声が聞こえてきた、などの情報もあるが、信憑性は高くない。

「…そう。また例のヴィジランテが…」
「ふふ。一介のシスターとしては頼りになる反面…恐ろしいわ。だって趣味でヒーローの真似事をするなんて、ロクな方じゃありませんもの」
「さあ…誰なんでしょうね。その"グッドナイト・ワールド"さんは」

月夜櫻子について。
彼女は生まれながらにして実験材料であった。産み落としたのは、研究者達の1人。研究内容は、昔でいえば黒魔術の実証。レネゲイドが公となり、その起源と進化にいち早く着目したのが彼らだった。
しかし、彼らの目論見は外れる。レネゲイドの本質、そのリミッターの先へ行くには、何かが足りなかった。彼らだけではどうしても埋められなかった。もしかしたらそれは、正史でいえば「プロジェクト・インフィニティコード」と呼ばれたかもしれない。けれど少なくともここでは、無闇に失敗作と死体を増やすだけに終わった。
月夜櫻子もまた失敗作であったが…不完全な形ながらもレネゲイドに適合、命を取り留める。
親…もとい研究者達は仕方なく彼女の経過へと研究をシフトさせ、姿をくらました。それは研究対象のデータをより正確に観測するため。逆に言えば、彼女がジヤームするまで…否、死体、肉塊となった後も。彼らにとっては『研究対象』なのである。